６学連春季講習会

北海道学連

北海道学生合気道連盟春季講習会は、3月16、17日の2日間にわたり北海道大学武道場にて、小山雄二本部道場指導部師範によるご指導の下開催されました。加盟校3校から16名の学生が参加しました。

講習会では、新入生に対する指導についてご教授いただきました。

1日目前半は受身の基礎から稽古を行い、新入生が怪我をしないよう十分に注意や配慮をするよう指導していただきました。

座った状態からの後ろ受け身から始まり、前回り受け身、膝行での体の動かし方の確認をしました。その後技の稽古に入り、技の稽古では、主に受けの人が気を付けるべき点について詳しく説明がありました。

2日目では受けだけではなく、取りの動きにも注目した解説が多くなされました。

弊連の学生一同、今回ご指導いただいた内容を参考に、春からの新入生の指導はもちろん、自らの受け取りの技術の向上に努めてまいります。

（北海道学生合気道連盟委員長　山本遥穂）



関東学連講習会には熱心な学生が集まった



元気良く関西学連の学生達

東北学連

令和5年度東北学生合気道連盟春期講習会が3月18日、東北大学川内キャンパス柔道場にて開催された。本部道場から私（里舘）が派遣され、指導を行った。

4大学（東北大学、岩手大学、日本大学工学部、弘前大学）から、20名が参加した。

稽古は午前、午後と行われ、午前は新入生を迎えるにあたり、怪我をしない、させない指導に焦点をあて、段階的な後ろ受身を確認し、半身や転換、各種受身、膝行を行った。その後、五級の技を中心に単独動作が技に繋がっていることを参加者と確認した。

午後の稽古は午前の動きを踏まえて、入身投げや四方投げ、一教等基本技を中心に、正面打ち、片手取りから横面打ち、諸手取りなど難しい取り方になっても基本の体捌きと繋がっていることを意識するように指導した。

コロナ禍を経て、各大学の部活動の制限は解除されたが、部員の減少が問題となっている大学が多いとのこと。新年度の合気道部の部員が一人でも多く入部することを期待する。（本部道場指導部指導員　里舘潤）

関東学連

関東学生合気道連盟令和5年度春季講習会が3月6、7日の両日、日本武道館研修センターにて開催され、21校、84名の学生が参加し、桂田英路本部道場指導部師範にご指導いただいた。

1日目では片手取り四方投げから始まり、受け身や膝行、転換といった基本的な動きをご指導され、下級生への指導方法についてもお話しされた。また、夜には懇親会も行われ、参加者は他大学との交流と新入部員獲得の為のノウハウの交換を楽しんでいた。

2日目では座技正面打ち第一教から始まり、横面打ち四方投げや後ろ両手取り第三教など1日目よりも難易度が高い技をご指導された。

講習会を通して、参加者は下級生への指導方法や基礎的な動きを見直すことができ、技の完成度を高めることにつながった。

今後も関東学生合気道連盟の活動を通して、学生同士が交流する場を提供できるように努めたい。（関東学生合気道連盟委員長　渡邉　啓詞）

中部学連

中部学生合気道連盟令和5年度春季講習会は、3月19日、枇杷島スポーツセンター、20日には愛知県武道館にて開催され、計8校、約70名の学生が参加しました。

今回の春期講習会は、鈴木俊雄本部道場指導部師範を講師として迎え、合気道の正しい理解や大学相互の交流を主軸に、日々の体の鍛え方なども教わりました。

1日目は新入生への指導方法を学び、2日目は前半が実践的な新入生への指導方法を学び、後半では自由技などを行いました。

また、1日目の講習会の最後では質疑応答の時間が設けられ、学生からは技や受身の技術面から新入生を迎えるにあたって不安な点や気持ちの持ち方など、幅広い質問があがりました。講習会に参加した学生からは、新入生を迎える自覚が芽生えるとともに、自身の技の練度を高めていこうという感想が見られました。

中部学生合気道連盟一同、学生合気道の更なる発展、各大学の親交のため尽力いたしますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。（中部学連事務局）

関西学連

関西学生合気道連盟春季講習会は、3月19日に開催されました。今回は吹田市立武道館洗心館にて、1日のみの開催となりました。

連盟加盟校のうち、9校72名の学生が参加しました。この講習会では、小山雄二本部道場指導部師範よりご指導を賜りました。

参加したのは、新しく2、3年生になって来年度からの部活運営の中心となる学生で、主に新入生への指導方法を教わりました。最初に、礼の際の姿勢など、合気道を学んでいくうえで改めて意識しなければならない点についてご指導いただきました。

次に、基礎的な受け身を、運動経験の無い新入生にも安全に習得してもらえるような指導方法や、怪我が生じやすいポイントなど、新入生を迎えるにあたって知っておくべき様々な点をご教授いただきました。

また、一教や四方投げといった基本的な技に関して、取りと受けの両方の観点から重要な点を教わりました。

どのような技であっても受け身を取る過程で相手への注意を切らさないこと、完全に崩れ切った姿勢にならないという意識を持ち続けることなど、新入生への指導という点に関わるものだけでなく、自分たちの受けの技術の向上につながるポイントを数多く学ぶことができたと思います。

もうすぐ新入生を迎えるというタイミングで、受け身や技の指導方法や基本的な点を学ぶことができたこの春期講習会は、非常に有意義なものとなりました。（関西学生合気道連盟事務局）

中四国学連

令和5年度中・四国学生合気道連盟春季講習会は、3月21日・22日の2日間にわたって開催されました。梅津翔本部道場指導部師範より、計6校、43名が香川県立武道館に集って、稽古を行いました。

初日の稽古では半身の取り方から受け身、膝行まで、基本的な動作の確認を行いました。春に入部してくる新入生に向けて指導方法を学ぶ、という目標であるため、どのような指導方法が初心者に向けて安全でわかりやすいのかを一から学ぶことができました。

また、普段稽古をしているにも関わらず、講習を受けて、まだ改善の余地があるというように感じた部分もあったため、今後の稽古でも注意しながら取り組んでまいります。

2日目では技の中の足の運び方や、体の向きの確認等、学ぶことができました。さらに、稽古後には各大学の活動内容や新歓に向けての取り組みについて、意見交換会を行いました。

新入生だけでなく、稽古に励むすべての人が安全に、そして合気道を楽しめるように、今後もさらなる成長と学生合気道の発展を目指して尽力いたします。（中四国学生合気道連盟　戎子由夏）

第61回全日本合気道演武大会

第61回全日本合気道演武大会は、5月25日(土)、東京・千代田区の北の丸公園内の日本武道館で開催されます。

当日は午前11時開場、正午開会、午後5時閉会の予定。一般の参観者歓迎、入場無料です。

〔個人演武〕植芝守央道主、本部道場師範、地域道場師範らが出場。

〔団体演武〕本部道場、地域道場、社会人団体、学生連盟など約7千5百名が出場。

主催＝（公財）合気会

協力＝全日本合気道連盟

後援（昨年度実績）＝スポーツ庁、東京都、（公財）日本武道館、NHK、日刊スポーツ新聞社

29日に合気神社大祭

「合気神社例大祭」（植芝家主催）は、4月29日（昭和の日）茨城県笠間市（旧岩間町）の合気神社で執り行われる。午前11時から大祭、開祖慰霊祭、二代道主慰霊祭と続き、神事の後、植芝守央道主の挨拶、奉納演武が行われ、正午過ぎに祭典は終了する。その後、直会が開かれる予定。

偲ぶ会は26日に

合気会は恒例の「開祖・吉祥丸二代道主を偲ぶ会」を4月26日の午後7時から本部道場で開催する。開祖と吉祥丸二代道主を偲び、スライドと映像を上映する予定。

入身転換

今年は桜の開花が全国的に例年より遅かった。予想に反して気温の低い日々が暫く続いた為のようだ。東京で4月に入ってのお花見は久しぶりだ。桜の名所ではいつもの賑わいが戻っているようだ。

この4月の大きな問題は自動車運送業の人手不足だ。2024年問題と言われている。2019年に時間外労働の上限規制を盛り込んだ働き方改革関連法が施行された。その中で自動車運送業については上限規制の適用が5年間猶予されていた。

このところ各地のバス会社がダイヤ改正と称して減便や最終便の繰り上げ、更には路線の廃止などを発表している。特に他の公共交通機関のない地方では更なる過疎化を招きかねない。減便や路線廃止の理由は各社共通して運転手の人員不足並びに時間外労働の上限規制の適用である。既に5年前から危惧されていたことだが全く解決策の無いまま今日に至っている。

人手不足の対応策として5年前に出入国管理法が改正され特定の技能をもつ外国人労働者を十二分野で受け入れることとなった。この結果、外国人労働者が大幅に増えてきた。しかし、自動車運送業はこれらの分野に含まれていなかった。トラック、タクシー、バスの業界三団体の要請を受け、このほど政府が特定技能制度の見直しを決断した。先月末に特定技能の対象分野に「自動車運送業」を「鉄道」、「林業」、「木材産業」の三分野と共に追加することを閣議決定した。バスやタクシーの運転手については当然ではあるがかなりの日本語能力も要求されるようだ。

この決定が公共交通機関であるバス路線の維持につながる事を期待したい。（可児　晋）

道歌

天地（あめつち）は
汝（な）れは合気と
ひびけども
何も知らずに
神の手枕

合気道新聞
毎月10日発行
発行所
東京都新宿区若松町17番18号（郵便番号162 0056）
公益財団法人　合気会
（合気道本部道場）
編集人　可児　晋
電　話03（3203）9236（代表）
ＦＡＸ03（3204）8145
購読料
1ヵ年　2,800円
郵便振替
00150－0－49527番
ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

（公財）合気会理事会開く

（公財）合気会の理事会は3月19日、合気会会議室で開催された。

開催にあたり、植芝守央道主より「本日はお忙しい中、公益財団法人合気会の理事会にお越しいただきありがとうございます。２０２０年から世界中が大変な時期で、合気道界も大変な状況下でございました。しかしながら昨年から徐々に回復の兆しが見えました。現在のところ２０１９年と比べますと八割五分から九割の行事が回復しております。新年度になって２０１９年度以上の行事が活発化すると思っております。このような形になりましたのも合気道を日頃からご理解下さっている皆様方をはじめとする世界中の合気道の関係者が努力をし、我慢をしながら前へ前へと進む信念をもって取り組んできたからだと思います。大変な時期を乗り越えたという気持ちを大切にしながら前へ進んでまいりたいと思います。是非皆様方にはこれからもご支援のほど宜しくお願い致します」と挨拶。


挨拶する植芝道主

理事会は、定款の規定により植芝守央理事長が議長を務めた。

次に、定足数の確認が金澤威総務部長よりなされ、議事録署名人選出に移った。議事録署名人は定款の規定により植芝理事長と貞國鎮監事・山本高英監事が選出された。審議に入り、①令和６年度事業計画(案)及びこれに伴う収支予算(案)について、②代表理事（理事長）植芝守央・専務理事植芝充央・常務理事林典夫の職務執行状況報告について、③定時評議員会の招集について審議が行われ、全ての議事が承認され、満場一致で閉会した。

令和６年度 武道振興大会

令和６年武道振興大会は３月６日正午から東京・永田町の衆議院第一議員会館で開催され、合気道からは植芝守央道主をはじめ、(公財)合気会役員ら16名が出席した。

大会は吉川英夫（公財）日本武道館常任理事・事務局長の司会で進められ、丹羽秀樹武道議員連盟理事・事務局長の開会の辞で始まり、江渡聡徳武道議員連盟会長と高村正彦日本武道協議会・(公財)日本武道館会長から主催３団体代表挨拶があった。



植芝道主を中心に

続いて高木陽介武道議員連盟副会長・理事長が武道議員連盟・日本武道協議会・日本武道館の三者による大会決議文を披露。同決議文が盛山正仁文部科学大臣に手渡された後、盛山大臣による来賓祝辞、岸田文雄内閣総理大臣の来賓祝辞代読に続き、各武道団体代表者による挨拶に移った。

合気道からは植芝道主が「合気道界はコロナ収束後、国内外でしっかりと活動をしております。今年は８年ぶりに第14回国際合気道大会を代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催します。85か国の代表者とおよそ２０００名の会員を集め、演武大会・講習会を開催する予定です。これからもしっかりと合気道の普及・振興に取り組んでまいりたいと思います。皆様、よろしくお願いいたします」と述べた。

その後、川端達夫(公財)日本武道協議会・日本武道館理事長の乾杯の音頭で親睦会が和やかに行われた。

最後に高村正大武道議員連盟事務局次長による閉会宣言があり、閉会した。

愛知、指導者研修会

令和５年度愛知県（名古屋市）地域社会指導者研修会が２月10日、11日の２日間愛知県武道館で行われた。


大澤師範による指導

中央講師として、大澤勇人本部道場指導部師範、梅津翔同師範、地元講師として鷹羽保夫愛知県合気道連盟副会長兼理事長、神谷英志同理事が務めた。研修会には県連加盟団体37団体より１４９名の参加があった。

10日は講習会に先立ち開会式が行われ、髙木諭愛知県武道協議会会長、澤田俊晴愛知県合気道連盟会長、講師を代表して大澤師範がそれぞれ挨拶を述べた。

開会式後、午前中は大澤師範による稽古が行われ、半身の取り方、体捌きを確認した後、基本技を中心に稽古を展開した。

午後の梅津師範による稽古では中学校の授業における指導法についての稽古が行われ、道場の稽古と授業の稽古の違いを確認しながら行われた。続いて神谷理事による講義では、「合気道の安全計画」というテーマをもとにグループワークが行われ、参加者をグループ分けし、稽古中に怪我をしない、させないための意見交換、発表が行われた。

11日は午前に鷹羽副会長による稽古が行われ、基本技を中心に指導があった。

午後は大澤師範による稽古が行われ、初日と同様に体捌きを確認した後。片手取り、正面打ち、両手取り、横面打ちによる基本技を中心に指導した。

講習会終了後は閉会式が行われ、髙木会長より参加者代表者に修了証が授与されたのち、大澤師範から講評がなされた。最後に澤田会長が挨拶を述べ、２日間の研修会が終了した。

合気道学校 令和６年度 開講式

令和６年度合気道学校開講式は、４月１日（初級）、２日（上級）、３日（中級）にそれぞれ行われ計44名が入校した。

開講式で植芝守央学校長は「担当師範の動きを見て、教えをよく聞き、合気道のみならず、社会生活に活かしていただければと思います」と挨拶を述べた。担当講師の紹介の後、第１回目の稽古に移った。

各課程の講師は次の通り。

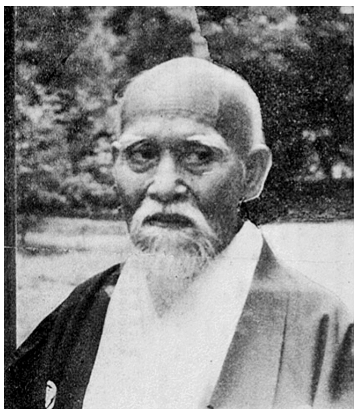
上級課程＝伊藤眞指導部師範、里舘潤本部道場指導部師範、中級課程＝鈴木俊雄、小山雄二両指導部師範、初級課程＝金澤威、梅津翔本部道場指導部両師範。

合気道学校は、各課程を通じて合気道の実技と理論を身に付けられるよう基礎からカリキュラムに沿って指導される。

それぞれの課程で８月下旬まで38回の稽古が行われ、所定の課程修了者には修了証のほか、昇段級審査の上、初級課程は四級、中級課程は二級、上級課程は初段まで授与される。



開祖の言葉　植芝盛平



合気道の技は、総べて宇宙の真理に合していなければならないことは自明のことで、これに反して宇宙の真理に合しない技は、総べて己の身に返って心身を滅ぼす結果となり、このような技は宇宙に結ぶことができない武であって武産の武ではない。宇宙に結ばれる技は人間の愛を結ぶ武ともなる。この宇宙と結ばれる武を武産の武というのである。

武の結びの第一歩は、五体の響きの槍をアウンの力によって宇宙に発兆するのである。五体の響きの形に現れた姿が産霊である。これは色々なる武の形をあらわし千変万化を発兆する主である。五体の響きによって、色々発兆する形は、宇宙の響きと合したものでなくてはならないことはいうまでもない。

五体の響きは、先ず心身の統一を発兆する土台とするのである。その響きは宇宙の響きと同化、相互に交流しなければならないのである。それは宇宙に舞い上がった五体の響きが、宇宙の響きに「こだま」して力強く、五体に反応しなければいけない。この響きの微妙な変化が武の本源なのである。

五体の響きが、宇宙の響きと同化するとき、熱と光と力が生じ結ばれる。この変化は微妙に変化した響きを活用し、すべてに気産びし、生産びし、結結びし、「気の妙用」を熟するのである。同根一体となって技を生み出す武が、武の本源なのである。

これは宇宙の善の大愛の目的はたらきなのである。宇宙の経綸にあった武の技を生むのか合気の使命なのかである。

五体の響きによって生きた技は、宇宙の響きと緒結びして千変万化の技を生み出しているのであるが、これが科学しながら生み出した技である。この科学した技は人生経綸の上に立っても、五体の響きによって、光と熱と力とによって武産の武の姿を表わさなければならない。これは大愛の表われであるのである。宇宙の響きは天地万類と共に生きる。これが五体の響きと同化して、宇宙間の経綸の主体となって、止まることなく生成化育への道を進んでいるのである。

吾々は正勝、吾勝、勝速日の精神をもって、天の運化を腹中に胎蔵して宇宙と同化、そして宇宙の内外の魂を育成して、且つ五体の響きをもって総べて清浄に流通無碍の緒結をして、宇宙世界の一元の本と、人の一元の本を知り同根の意義を究めて、宇宙の中心と正勝、吾勝、勝速日を誤まず武産の武のアウンの呼吸の理念力で魂の技を生み出す道を歩まなくてはならない。

合気道に進まんとする者は、以上のことを、よくよく心得て望まれんことを切望するのであるが、それには宇宙の真象をよく眺め、己に取り入れ、それを土台にして、己の門を開いていかなければならない。宇宙の真象をよく観察して悟る。かようにして学んでいく。要するに合気を歩む者は、宇宙の真象を腹中に胎蔵してしまうことが肝要である。宇宙の真象は宇宙の本当の姿が表にでるのである。

（昭和40年９月号）

第35回多田宏師範特別講習会

『第35回多田宏師範特別講習会』を下記の通り開催します。奮ってご参加下さい。

記

日　　時：令和６年６月16日（日）
　　午後２時～５時
　　（13時45分より準備運動を行います）
会　　場：本部道場　三階道場
会　　費：３，０００円
稽古内容：「気の流れの研究」について
持 ち 物：有段者証、木刀、杖をお持ちの方はご持参下さい。
申込方法：当会受付にて所定の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、会費を添えてお申込み下さい。
締　　切：６月10日（月）まで

公益財団法人　合気会

演武大会賛助会費のお願い

（公財）合気会では「第61回全日本合気道演武大会」の開催に際して賛助会費のお申し込みを下記のようにお願いしております。

記

会　費：１口（１万円）以上
申込先：（公財）合気会
〒162-0056　東京都新宿区若松町17－18
電話　03(3203)9236
三井住友銀行新宿通支店　当座1015007
郵便振替　00150－0－49527

公益財団法人　合　気　会

タンザニア巡回指導


鈴木師範の指導

1月29日から2月6日まで鈴木俊雄本部道場指導部師範と私（里舘）はタンザニア連合共和国のダルエスサラーム市を訪れ、稽古指導と昇段審査を行った。

タンザニアの合気道は今回も同行して頂いた勝田幸秀氏が2009年に立ち上げて以来活動を続けて今日に至っている。現在はアズキウエ合気道クラブとアズミオ合気道クラブに分かれて活動している。

2月1日鈴木師範、勝田氏、私の3人でタンザニア日本大使公邸を表敬訪問し、三澤康特命全権大使に温かく迎えて頂いた。また、三澤葉子大使令夫人は、以前合気道本部道場で稽古されており、現在も両クラブで稽古を続けるなど、彼らの支援もして頂いている。

講習は2月1日から4日まで鈴木師範の指導のもと、2時間の稽古が6回市内のムナジモジャ小学校内で行われた。稽古には両クラブ合わせて約30人が参加した。

3日の朝は公開という形で稽古が行われ、三澤大使が見学に訪れ、地元の少林寺拳法、空手、柔道の会員が体験として稽古に加わった。

最後の講習会では昇段審査が行われ、新たに三段2名、二段1名、初段5名が誕生した。

タンザニア国内は経済も徐々に発展してきており、日本の武道も幾つか浸透している。しかし、国がまだ発展途上にあり、継続して習い事をする文化もまだ浸透していないとのことであった。また、稽古場所の確保、団体の運営など手助けが必要なところはまだまだ多いと感じた。しかし会員の合気道の稽古に取り組む姿勢は非常に熱心であり、タンザニアの発展に伴い、合気道の人口もこれから増えていくと考えられる。

全ての日程を終えダルエスサラームの空港を発ち、6日午後成田に到着し、今回の巡回指導を無事に終えた。（本部道場指導部指導員　里舘潤）

台湾講習会

私（入江）は、1月19日から22日まで台北市を訪問し、台湾国際合気道連盟（TIAA）主催の講習会で指導稽古を行った。

会場は大安高級工業職業学校の体育施設。19日、台北市到着後、午後3時から同会場で昇段審査を行い、初段3名、弐段5名が合格した。

弐段合格者5名は、2019年訪問時とコロナ禍でのリモート審査時の受審者であったが、前回よりも動きが良くなっている印象を受けた。

翌日から2日間、講習会が開催され、104名が参集して汗を流した。弐段までの審査内容を踏まえて基本技から応用技まで稽古を行った。本部道場と品川区合気道交友会からも13名が参加して、道場の内外で活発に交流を行った。

台湾の方々の熱心に稽古に取り組む姿勢に大いに刺激を受けたようである。滞在中、アルフレッド・チャンTIAA理事長とライク・チェン氏にはとても親切なおもてなしを受けた。この場をお借りして心より感謝を申し上げたい。（本部道場指導部師範　入江嘉信）


入江師範を囲んで


伊藤師範による指導

モロッコ講習会

私（伊藤）は、1月18日から23日まで、モロッコ、カサブランカに派遣され、公認団体のバイヨン合気スクール主催の講習会で稽古指導を行った。

空港で団体指導者、オマール氏の出迎えを受けた。同氏は東京に数年滞在し、本部道場で稽古をされたのちに帰国、当地で対日貿易業務の傍ら、稽古指導を行っている。

翌日から2日間で2時間の稽古を3回行い、カサブランカ、マラケシュ、ラバトなどモロッコ各地、サウジアラビアからの参加者含め50名程が汗を流した。ほぼ全員が有段者で、中には稽古歴数十年の愛好者もおり、少ないながら女性参加者も交じって熱心に稽古をしていた。

当地のホスピタリティと豊かな自然、文化、美味しい食事を満喫、充実した3日間だった。（本部道場指導部師範　伊藤眞）

フィリピン講習会

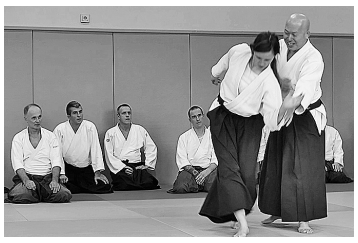
私（藤巻）は、合気会フィリピンズとFFAの講習会のため3月1日から5日まで、フィリピン・マニラを訪問した。2日間計6回の稽古が週末行われ、4団体から118名が参加した。

昨年に引き続いて訪れたマニラであったが、すっかりコロナ禍の影響を感じないところまで雰囲気が明るくなっていたことが印象的であった。（本部道場指導部師範　藤巻宏）

南仏講習会

私（栗林）は昨年12月7日から14日まで、フランス講習会の為、南仏コートダジュール地方のムジャン市と故田村信喜師範所縁の修明館道場があるプロヴァンス地方のブラを訪問した。

講習会は8日昼から始まり、10日午後まで5回、各2時間、ムジャン合気道クラブのメンバーを中心に、近隣のニースやグラース、リヨン、プロヴァンス地方のマルチーグ、更には遠くスペイン、ポーランド、ベルギー、ノルウェー、イギリスからの参加者も含め、65名程が集まり、皆熱心に稽古に励んだ。


栗林師範の指導

また8日にはお住まいが近いという事もあり、クリスチャン・ティッシェ師範もわざわざ顔をお見せ頂いた。

11日にはムジャン合気道クラブ会長Kevin Hocquard氏と共に車で西に移動、プロヴァンス地方のブラ村にある修明館道場に到着した。

修明館道場はフランスに合気道を広めることに於いて多大なる実績を残された、故田村信喜師範が創設された道場で、現在もフランスの合気道統括団体の一つであるFFABの本拠地となっている。

12日の日中にはFFABのMichel Gillet会長、Didier Allouis師範達と共に、近郊のエクサンプロヴァンスにある田村師範ご夫妻のお墓参りに伺うことが出来、同日夜には修明館での稽古を行った。

フランス政府の規制で修明館の場合40名までしか稽古はできないが、人数制限ぎりぎりの40名の方々が集まり、熱心に稽古に励んだ。

また、稽古にはFFABの重鎮であるClaude Pelleri師範やGilles AILLOUD師範もご参加下さり、稽古後には修明館名物でもある道場横のサロンでの楽しい夕食会となった。（本部道場指導部師範　栗林孝典）

ギリシャ講習会

ギリシャ合気道評議会主催の講習会は、昨年12月8日から9日まで開催され、入江嘉信本部道場指導部師範が招かれ指導に当たった。

講習会にはアテネ市内のパンテオ大学の体育館を会場に国内外から102名が参加した。

参加者はけがもなく和やかな雰囲気の中で充実した稽古に取り組んだ。

協会所属の各団体が協力し合って講習会開催に努め、結束がさらに強化された。

ブルガリア講習会

私（伊藤）は、2月21日から27日まで、ブルガリア合気道協会に招かれ、首都ソフィアで講習会指導を行った。

フライトの都合でイスタンブールにて一泊し、ソフィアまではわずか一時間弱のフライト。空港で協会幹部・ドウシ氏の出迎えを受けた。この時期のソフィアはまだ雪景色のはずだが、小春日和の暖かさで、空港周辺と市街に雪は見当たらず、町を見下ろすヴィトシャ山頂に、白くわずかに残っている程度である。

翌金曜の夜は有段者の稽古、ブルガリア各地、ギリシャ、セルビア、ポーランド、オランダ等、各地から集まった会員が、初回の稽古に汗を流した。

翌土曜日は少年部の稽古を1時間、30名程の元気な子供達と楽しく稽古を行った。続いて午前午後の稽古を1時間半ずつ、スイスのクアランタ師範と時間を分けて稽古指導を行い、130名が汗を流した。（本部道場指導部師範　伊藤眞）


伊藤師範の指導

静岡県指導者研修会

令和5年度静岡県（藤枝市）合気道地域社会指導者研修会が2月10、11日に静岡県武道館にて開催された。

中央派遣講師として森智洋本部道場指導部師範、地元講師として石原克博静岡県合気道連盟理事長が指導を行い、17団体約100名が参加した。

研修会は森師範による稽古が3時間、石原師範の稽古が3時間行われた。また、研修会2日目の午後には研修成果発表会として参加者全員が演武を披露した。森師範の稽古では、身体の軸や身体の内側の部分をバラバラに使えるような身体操作を意識し、稽古が行われた。石原師範の稽古では相手を認め合い稽古を行うことを強調され、他道場の会員と共に熱心に汗を流した。

閉会式では参加者に修了証が授与された。総評として森師範が「本研修で得られたことを活かして各道場で活躍していただき、また来年もここに集まってもらい合気道を盛り上げていってもらえればと思います」と述べた。最後に閉会の辞で2日間の研修を終えた。

合気道のさらなる興隆を目指す機運が大いに感じられた。（本部道場指導部指導員　中村仁美）


森師範による抑え技

山梨県連講習会

山梨県合気道連盟加盟団体の合同講習会は、2月11日、藤巻宏本部道場指導部師範をお迎えし開催されました。コロナ禍により休止を余儀なくされていましたが、第9回目として無事再開することができました。

稽古は、基本的な体捌きや目付けの大切さについて、説明と形の実践を交えつつの講習で、参加者より分かりやすく、楽しい講習だったと感想を頂いています。今回から連盟に新規加入の甲府合気会の方々も参加となりました。当日は3月中旬並の暖かい稽古日和で、良い汗を流した後の懇親会も盛況でした。

今後も山梨県内の活動団体との交流をより充実したものにし、合気道の普及に取り組むことを再確認した1日となりました。（事務局）


藤巻師範の指導

兵庫県指導者研修会

令和5年度兵庫県（姫路市）地域社会合気道指導者研修会は2月17日、18日の2日間兵庫県立武道館で行われた。

本部道場からは難波弘之本部道場指導部師範、藤田すみれ同部指導員が中央講師として派遣された。また、地元講師を山田芳朗合気道兵庫県連盟会長と野田和利合気道神戸せいぶ館指導員が務めた。参加人数は、県内連盟加盟団体から18団体208名であった。

17日は講習会に先立ち開会式が行われ、主催者側から西茂樹兵庫県立武道館館長、主管団体である合気道兵庫県連盟から山田会長、講師を代表して難波師範がそれぞれ挨拶を行った。

開会式の後、午前と午後に難波師範による稽古が行われ、続いて山田師範による稽古が行われた。

12日は午前に野田指導員による稽古、午後に難波師範による稽古が行われた。難波師範は単独動作を交えながら、円の動きを意識して基本技を指導した。

閉会式が行われ、西兵庫県立武道館館長より参加者代表に修了証が授与された。最後に難波師範から講評がなされ、2日間の研修会は無事終了した。


難波師範の指導

渡邉隆志氏（渋谷区合氣道同好会代表）
3月3日逝去。享年74

合気道を正課に採用している
日本体育大学
国際武道大学

各道場の昇段者

令和６年２月10日～
令和６年３月14日
（公財）合気会登録

【四段】

◆白岡合気会＝冨山光憲◆愛川合気道会＝清藤泰弘◆山口合気会下松道場＝山口健児、吉田弥生◆公和館道場＝宮原敬輔◆合心館谷本会＝長留勇作◆遠賀合気会＝岩野祥子、萩本雅昭◆小林道場＝T.Hallen、A.Naess、M.Solimene◆合気道れいめい会＝川岸駿介◆ISRAEL＝M.Bazhamin◆BRAZIL＝A.Santos、F.Shoyama、L.Pascoal、L.Noleto◆PHILIPPINES＝J.Cinco◆U.S.A.＝S.Yanahan、I.Krol、S.Johnson、J.Adachi、K.Godwin、K.Simpson、P.Daly、髙橋義之、D.Pashos、C.Byrnes、D.Patterson◆RUSSIA＝S.Litvin、M.Morozov、V.Anfinogenov◆GERMANY＝J.Haemmerle、S.Hans、S.Popovic◆FRANCE＝J.Parny、R.Brajou◆MOROCCO＝N.Haidaoui、M.Bahou、L.Meknadi◆中国＝王树声◆ITALY＝A.Viterisi◆INDIA＝M.More、G.Ramdas、E.Kallvikarasan◆U.K.＝C.Brown◆SPAIN＝N.Bravo、A.Serrano◆AUSTRALIA＝J.Trainer、A.Ashard

【参段】

◆本部道場＝土屋稔、黒川嘉明◆心架塾＝戎子未紘◆合気道瀧田塾＝清水竜司◆パレストラ合気道クラブ（HAKKENKAI-TOKYO)＝キャメロン・クリストファー裕太◆健武館＝茂木睦生◆広島合気会＝植野聡一◆合心館谷本会＝坂野由枝◆合気道鹿児島道場＝井上隆◆尚武館＝前田賢治◆A.K.I.＝A.Mbena、J.Gongoro◆祥平塾＝髙松和代◆神氣館＝林振作◆杉並合気会＝J.Pytel◆千代田区合気会＝塚田智子◆大阪合氣塾＝瀧井克也◆三菱養和会武道スクール合気道塾＝伊藤文子◆合気道入江道場＝柴田一輝◆合気道石田塾＝丸山満紀子◆合気道晴樹会＝松川範夫、山田幸裕◆小林道場＝M.Nouri、粕谷麻衣子、C.Marker、B.Ford、M.Griffin◆DENMARK＝T.Christensen◆SERBIA＝N.Sinadinovic、R.Jokic、N.Sretenovic◆PHILIPPINES＝R.Crisostomo、G.Beleno、M.Manzanaris、J.Buhay◆U.S.A.＝G.Silver、J.Wolf、J.Hix、G.Coffey、I.Martinez、M.Smith、Y.Lee、P.Berger、J.Lofton、J.Graziano、T.Roy、K.Yaman、C.Frentzko◆AUSTRALIA＝S.Barouline、C.Bligh、L.Wilson、C.Jones、M.Mclaughlin◆ROMANIA＝R.Apostolescu、E.Rus、M.Dinu◆BRAZIL＝P.Filho◆CAMBODIA＝L.Eng◆RUSSIA＝G.Sakaev、A.Mikhailova◆FRANCE＝C.Dias、D.Lahyani◆SLOVENIA＝M.Hari、T.Maligoj◆MEXICO＝S.Mendez◆MOROCCO＝S.Badichi、M.Abed、I.Alaoui、A.Aoufi、A.Monclus◆UKRAINE＝V.Babitskiy◆CZECH＝M.Kolar◆GREECEM.Loos◆SINGAPORE＝黄達輝、張文宗◆POLAND＝L.Wrotny◆INDIA＝P.Mitin◆SPAIN＝J.Dugros、F.Querol、R.Massari、A.Moreno、J.Rabasco、F.Benitez◆GERMANY＝C.Mundel、S.Zinner、D.Sytnychenko◆ITALY＝S.Bush、P.Bertoldi、J.Racca、R.Pollastro

【弐段】

◆本部道場＝中川範彦、久保田静剛◆蓮田合気会＝水越敏通◆合気道瀧田塾＝蛭町真実◆武友館袋井合気道場＝藤城理賀◆沖縄合気会＝M.Elhilali、M.Shahbazi◆合気道宇宙の会＝高木正直◆甲府合気会＝鈴木將、阿部功、町田吉宏、町田泉◆合心館谷本会＝桑原和也◆A.K.I.＝S.Waheby◆祥平塾＝松岡竜大◆杉並合気会W.Chang◆清進塾＝馬場由美子◆大阪合気会＝野間翔太◆里見八顕会本部＝小原慶吾◆六十谷道場＝眞田和幸、松川公政◆横浜杉田合気会南部道場＝伊藤幸恵◆合気道和心会＝上田典生◆合気道入江道場＝豊田幸宏、宮本明典◆合気道楽々健身倶楽部＝中島咲子◆紀州熊野合気会＝庵野良哲◆加藤道場＝久保田晃弘◆合心館谷本会＝S.Bena◆小林道場＝A.Moss、M.Moss、M.Castelluccio◆愛媛大学＝田原和季◆一橋大学＝小林滉希、谷口萌◆上智大学（ソフィア合気会）＝小栗裕也◆大阪公立大学女子合気道部＝北田真楓◆中京大学＝岡修輔、白井慎吾、山口祐以、長谷川笑那、勝野優依、後藤大知◆法政大学＝本間心◆北海道大学＝千葉文胤、遠藤遥◆名城大学＝奥谷晃久、小林史弥、續木麻衣奈◆THAILAND＝W.Cheevapitakphol◆ISRAEL＝E.Bershadsky、D.Efrat、Y.Shimony、Y.Leader◆U.K.＝J.Bunting、L.Biegus◆SERBIA＝P.Jovanov◆PHILIPPINES＝S.Ali、D.Sayson◆U.S.A.＝A.Miranda、D.Schurr、D.Vargas、M.Martin、T.Barton、R.Mueller、B.Cooper、W.Merbach、L.Rincon、T.Brown◆AUSTRALIA＝D.Perrotin、F.Pous、佐藤祐輔◆ROMANIA＝D.Iordache、D.Buzan、C.Stefan、J.Cristea、R.Igrisan、D.Stanciu◆BRAZIL＝R.Oliveira、R.Damasco◆SWEDEN＝G.Rohlen◆FINLAND＝S.Sydanlampi◆SPAIN＝J.Costa、P.Costa、A.Triay、V.Herrera、F.Lillo、M.Sobradelo、I.Olivares、A.Vera、C.Romero、A.Navarro、O.Martinez、D.Clares、D.Mikhaylov、G.Zheng◆UKRAINE＝Y.Pyrin◆MOROCCO＝J.Chennaoui、A.Rachidi、I.Rabai、M.Dine、A.Mjidly、H.Mandour、H.Cherki、C.Tkhissi、M.Zemouri、A.Azzouz◆RUSSIA＝A.Bokarev、M.Shakhnovskiy、G.Mishin、E.Burmistrov、A.Kolesnikov、V.Kucherov、D.Fomin、P.Chekmaryova、A.Evseeva◆中国＝李振鵬、黎洋廷、游骥◆CZECH＝J.Homola◆ITALY＝F.Lehretz、A.Anni、T.Bisani、M.Kukrika、M.Bertola、E.Bertola、A.Circiello、E.Stabile、A.Ioppolo、A.Rapuano◆AUSTRIA＝P.Storf◆BULGARIA＝P.Vachev◆SINGAPORE＝徐惠德◆POLAND＝M.Dudzinski、S.Berg◆GERMANY＝G.Pudel◆DENMARK＝R.Hende◆CHILE＝R.Zuazo、D.Vera、V.Duarte、C.Campos◆NEPAL＝郭進明◆BELGIUM＝P.Elsen、K.Gompel、T.Aalten◆中華民国台湾＝聶廷羽

【初段】

◆本部道場＝瀧泰元、土岸央治、古田哲、星多賀子、A.Ottenwaelter、高村睦子、佐々木理津子、小川征俊、木寅雅之、アイザック・ソダーストロム◆蓮田合気会＝竹腰直行、渡邊純◆Ｊ１合気会＝池田正太郎、石井俊介、石原愛菜◆水戸合気会＝薄井眞帆◆沖縄合気会＝C.Hofmann、J.Place、J.Vikoren、E.Stewart、J.Berman、S.Ishetiar◆群馬合気会＝井上季実、田部井珂維人◆健武館＝金山謙之信◆合気道宇宙の会＝堀晃大◆甲府合気会＝井上典昭◆合心館谷本会＝新保貴大、天倉道雄、尾敷健吾、藤田恵利佳、林昇二、泉友雄、村上和也、池田和久、F.Salandin、G.Spiandorello、A.Terzo◆三島記念館＝秋田稔◆合氣道廣心会＝安田美紀子◆A.K.I.＝R.Masalu、G.Mwanyika、S.Bilgen、S.Mwinjuma、I.Said◆祥平塾＝片山彰二郎、荒武祐宏、山本裕芳◆神武館＝今村龍生、大崎昭子、貝川仁釈、加藤妃千、原光輝、廣瀬智実、藤本康彦、松波友紀◆清進塾＝加藤茂◆祖師谷合気会＝草開勇介◆多摩合気会＝横川智之◆大阪合気会＝小山拓真◆大阪合氣塾＝髙江洲隆二、中村和美◆よみうりカルチャー自由が丘＝吉田潔子、石塚匠◆東村山合気道クラブ＝佐藤俊武根◆八日市場合気道会＝伊藤幸嗣◆宮城宮城野合氣修練道場＝山内惇幹◆合氣道漸進会＝茂木秀一、服部祐介◆向日葵道場＝大八木康生◆合気道楽々健身倶楽部＝岡棟秀和、富原学、増田義章◆合気道大阪研究会＝乾百花、池内埜桃、新庄夏己◆小林道場＝T.Stabell、A.Althowainy、L.Pattillo、F.Rix、R.Shannon◆かばら合気道同好会＝水谷進◆真風館＝西野康昌◆パシフィック合気道＝栗田洋子◆長野至水会＝宮澤僚、山﨑結太◆愛媛大学医学部＝伊藤優花、宇根寧々、宅和慶樹◆一橋大学＝小竹祥子、木村菜々子、佐々木陸◆学習院大学＝田代佑羽、小山田雅博◆駒澤大学＝渡邊航世◆上智大学（ソフィア合気会）＝古西悠衣、日髙旬陽、鳥居涼里◆早稲田大学＝梶本健斗◆大阪公立大学女子合気道部＝髙原茉白、川尻実悠、谷村光姫◆筑波大学＝箕田和奏◆津田塾大学＝佐藤さやか、百瀬仁美、相原莉子◆東京外国語大学＝髙橋亘輝◆東京農工大学＝加藤萌◆東北大学＝瀧川曜当郎、小松羽流◆法政大学＝ケリー・レオ、相原遼太郎、大森もも夏、髙橋陸斗、田村祐希、山口健太、吉見僚介◆和歌山大学＝田井杏佳、坂上結香、別所大樹、尾崎花、寺下花乃、岡田薫、田中くるみ、小森貴登、石崎凛々花、小数賀はな、中桐偉吹、松井泰晟、岡野亜香里、中筋唯菜、谷本彩花◆獨協大学＝浅倉愛莉、柳本陽菜◆東京理科大学神楽坂＝手島泉、高橋一颯、滝口紗彩、八田理子、近江陽生、鹿野陽生、末永翼、土田航輔、林田直也◆千葉大学＝小柴香純、山本啓介◆U.K.＝D.Rhodes、G.Hourd、P.Druzkowski◆SERBIA＝J.Popovic、S.Simic◆PHILIPPINES＝菊池眞人、R.Crisostomo、R.Palang、K.Leonardo、J.Moe、A.Pinili◆U.S.A.＝A.Delgado、E.Park、W.Parris、A.Ghitza、N.Arn、G.Fowler、O.Navarro、R.Oberuc、W.Kadar、J.Fritsch、P.Meluso、J.Leberfinger◆AUSTRALIA＝C.Berthelier、B.En◆BRAZIL＝S.Lacerda、J.Oliveira、G.Caiado◆SWEDEN＝C.Svensson、P.Lilja◆IRAN＝Y.Tehrani、N.Nouritajer、L.Norouzi、O.Shahi、A.Talaeifard◆SPAIN＝A.Garcia、A.Gonzalez、B.Pejenaute、D.Gil、E.Heredia、E.Marquez、F.Guarinos、J.Vaquero、J.Coll、J.Lopez、L.Roncero、M.Alvarez、M.Avila、N.Gangitano、R.Porras、A.Hernandez、J.Andres、A.Marchal、A.Villaro、R.Amor、D.Ribo、A.Pascual、M.Juarez、M.Ros、M.Pino、J.Herrero◆MEXICO＝J.Avila◆FINLAND＝N.Gustafsson◆MOROCCO＝A.Bassoure、A.Adnani、A.Bahreddine、A.Zaanoun、A.Elhoumat、D.Mouaouya、F.Karafi、I.Abaouss、M.Mhidi、M.Ezzahir、M.Rajai、M.Eddorhi、M.Saghroun、M.Ghalbi、M.Majdoubi、M.Gharbi、R.Loukehaich、R.Soudi、S.Norri、S.Idrissi、M.Tahiri、T.Chemsi、M.Janati、M.Filali、A.Sebti、E.Hassani◆RUSSIA＝O.Shvetsova、V.Vasilevskiy、M.Kuznetsova、E.Kareva、D.Golcov、A.Lashkov、A.Gorodilova、M.Gabdullin、K.Vasenev、B.Medvedev、V.Rodionovskiy、D.Martynova、S.Klybkina、D.Vasileva、A.Mozgova、A.Podkopaev、A.Manaev、A.Kokorin、M.Lebedeva、I.Vinokurova◆中国＝马津、卫宇◆NEPAL＝黄光明、P.Rai◆UKRAINE＝A.Rodiuk、K.Maziar、O.Humeniuk、R.Semenov、O.Omelchenko、O.Kovalyk、S.Havrylenko、D.Kocherhin、V.Zhovnir、O.Melnyk、S.Lytovchenko◆GREECE＝T.Magoura、V.Gouatsos◆AUSTRIA＝R.Stenzel◆INDIA＝A.Viji、P.Ruparel、A.Ramdas◆ROMANIA＝B.Dobre◆POLAND＝D.Soltys、J.Kosecki、D.Wojcik、J.Zielinski、B.Gruca、W.Nowakowski、M.Pysklo◆GERMANY＝R.Malcherczyk、R.Brunner、D.Reitz、E.Scheunemann、C.Faatz◆FRANCE＝P.Flipeau、J.Charron、A.Meyer、R.Soulier、E.Nivoix◆CHILE＝J.Saavedra◆ITALY＝T.Trsar、F.Conti◆PUERTORICO＝M.Ibarra◆BELGIUM＝I.Delic、N.Herpt◆CZECH＝F.Zuza、J.Muller◆中華民国台湾＝陳筱嵐